

環境経営レポート

認証番号0007373

活動期間: 2022年4月1日~2023年3月31日

対象範囲

事業活動: 自動車部品・電子部品の一般電気めっき及び無電解めっ

き及び電鋳めっきの加工

本社·清水工場 浜松工場 対象組織:



丸長鍍金株式会社

(第12版:2023年7月17日作成)

目次

1.	事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		3
2.	環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		5
3.	環境経営目標とその実績		6
4.	主要な環境経営活動計画の内容 EA21認証取得後の省エネ投資等		8
5.	環境経営活動の取組結果の評価	j · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	11
6.	次年度の取組内容	••••••	13
7.	環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等	の有無	15
8.	代表者による全体の評価と見直し	,	19

1. 事業の概要

(1) 対象事業所名及び代表者名 丸長鍍金株式会社 代表取締役 瀧井 貞夫

(2) 所在地

本社•清水工場

〒424-0046 静岡市清水区西大曲町12番3号(代表住所)

TEL 054-366-336 FAX 054-365-3261

URL http://www.marcho-g.co.jp

浜松工場

〒435-0022 浜松市南区鶴見町1420 TEL 053-581-907 FAX 053-581-9071

(3) 環境管理責任者・担当者の氏名と連絡先

環境管理責任者(統括) 岡村 剛典 担当者 岡村 剛典

連絡先: TEL:054-366-3361 FAX:054-365-3261

環境管理責任者(浜松) 櫻井 実担当者 森真

連絡先: TEL:054-581-9070 FAX:053-581-9071

(4) 事業内容及び認証登録範囲

自動車部品・電子部品の一般電気めっき、無電解めっき及び電鋳めっきの加工

(5) 事業規模

設立 1950年設立 資本金 1,000万円

従業員数:143名(常勤役員・従業員)

:26名(パートタイマー・アルバイトなど:延べ人員に調整、変動あり)

敷地面積:3274㎡(清水工場):4490.76㎡(浜松工場) 延床面積:2744㎡(清水工場):2510㎡(浜松工場)

(6) 事業沿革

昭和25年 (1950年) 清水市東大曲町7-21において創業

昭和28年 (1953年) 浜松市中島町459に浜松工場新設

昭和43年 (1968年) 株式会社となる。代表取締役に久慈直忠就任

昭和45年 (1970年) 清水市西大曲町12-3に第一工場建設

昭和60年 (1985年) 清水市東大曲町7-21に事務所、工場増築

平成10年 (1998年) 久慈直忠、代表取締役会長就任

久慈直太郎、代表取締役社長就任

平成16年 (2004年) ISO9001:2000取得・その後ISO9001:2008に移行

平成18年 (2006年) 静岡市清水区西大曲町12-3に新社屋建

平成23年 (2011年) エコアクション21 取得

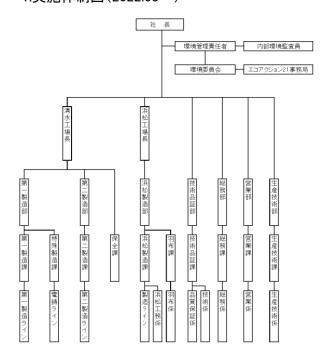
平成25年 (2013年) 浜松市鶴見町1420に浜松工場新設 (旧浜松工場閉鎖)

平成30年 (2018年) 佐賀工場閉鎖

令和4年 (2022年) 代表取締役社長交代、瀧井貞夫代表取締役社長就任

(7) 環境活動組織

1.実施体制図(2022.03~)



2.各自の役割・責任及び権限

①代表者

- ・環境方針の決定並びに見直し
- 環境管理責任者の任命
- 環境経営システムの構築、環境経営マニュアルの承認並びに見直し指示
- ・環境目標と環境活動計画の承認
- 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源の準備
- 緊急事態発生時の統括
- 内部環境監査員の選任、内部監査実施の指示と結果の確認
- ・代表者による全体の評価と見直し
- ・代表者による環境経営における課題とチャンスの明確化

②内部環境監査員

- 内部監査の実施と報告
- 監査内容の守秘義務
- ③環境管理責任者(次の事項に定められた役割・責任及び権限を、他の責任にかかわりなくもつ)

(浜松環境管理責任者は、環境管理責任者の指示のもと、浜松工場に関する下記の役割の一部を実施する)

- ・環境経営システムを確立し、実施・維持管理を継続的に運用
- 環境方針、環境目標、環境活動計画の立案
- ・環境活動計画の推進状況把握と社長への報告
- ・該当環境関連法規等の把握と管理
- 環境経営システムに関する規定類の整備
- ・環境関連教育、計画、訓練の実施
- ・ 緊急事態発生時の対応実施と報告
- 問題点発生に対する是正及び予防処置の対応指導
- ・社長による環境経営システムの見直しのための情報を提供
- 内部環境監査員の教育、内部環境監査計画の作成

4事務局

- 環境委員会の開催及び運営
- ・環境管理責任者の補佐
- 文書記録作成

⑤各部門管理者

環境活動計画の推進

⑥環境委員会

- 各部署の取り組み状況をチェックし、環境目標の達成に向けて従業員を指導
- 各部署の環境負荷実績等を記録し取りまとめて、事務局に報告

2.環境経営方針

環境 経営 方針

基本理念

丸長鍍金株式会社は、深刻化する地球温暖化への対応や、有限な資源の有効利用が 人類共通の重要課題と考えています。また、環境への適切な対応が企業の社会的責任で あると認識しています。

めっき加工事業を通して、地球及び地域環境の保全、循環型社会の形成、 資源の保護及び 汚染の予防に、全従業員で自主的、積極的に取り組みます。

行 動 指 針

- 1. 環境経営に積極的に取り組むために、環境経営マニュアルを策定し、環境への取り組みを継続的に進め、事業者の責務を体系的に遂行するシステムを構築します。
- 2. 環境への取り組みとして、次のことを環境目標にして継続的改善に取り組みます。
 - 1) 二酸化炭素排出量削減 (省エネルギー・省資源の推進)
 - 2) 廃棄物の削減、分別、リサイクルの推進
 - 3) 水使用量削減の推進
 - 4) 化学物質使用量削減の推進
 - 5) 独自の環境目標

作業の効率化

- 3. 『環境にやさしい工場づくり』を推進していきます。
- 4. 環境関連法規制等の遵守に努めます。
- 5. 従業員に環境方針を周知徹底すると共に、環境経営マニュアル、環境経営目標と活動計画、環境関連法規制等の教育・訓練、及び啓発活動の実施により、 環境保全に関する意識の向上と活動推進に努めます。

2011年6月1日 制定 2021年7月19日 改訂

丸長鍍金株式会社

代表取締役 瀧井 貞夫

3. 環境経営目標とその実績

(1)清水工場 実績及び中長期目標(生産量100万個当たりの指標)

	(I) 消水工場 美術環境経営目標項目	単位	推進部門 又は 推進担当者	基準値 2017年度 (4~3月)	目標値	2017年 (4~3)		2018年 (4~3		2019年 (4~3			20年度 ~3月)	2021年月	度(4~3月)		生年度 (3月)	2023 (4~		2024 (4~	
_		Kg-CO2	総務部	1,224,803	実績値	1,224,8	803	1,253,	824	1,239,	160	1,0	85,868	1,10	02,258	1,06	4,866				
大項目	二酸化炭素排出削減 (省エネルギー)注1,2	Kg-CO2/	総務部	47.040	目標値	-	-	17,040	1%↓	16,868	2%↓	#####	3%↓	16,523	4%↓	16,351	5%↓	16,179	6%↓	16,007	7%↓
н		生産量	松物面	17,212	実績値	17,212	-	18,854	0.3% ↑	17,366	1%↑	#####	1 22%	19,073	10.8%	18,342	↑ 6.6%				
	電力消費量の削減	KWH/	総務部	00.700	目標値	-	-	26,453	1%↓	26,186	2%↓	#####	3%↓	25,652	4%↓	25,384	5%↓	25,117	6%↓	24,850	7%↓
	※基準年同月比	生産量	総務部	26,720	実績値	26,720	-	27,497	3% ↑	27,061	1%↑	#####	1 24%	30,506	14.2%	29,304	↑ 9.7%				
中	化石燃料消費量の削	L/	24 46 40	040	目標値	-	-	216	1%↓	214	2%↓	212	3%↓	210	4%↓	207	5%↓	205	6%↓	203	7%↓
項目	減 ※基準年同月比	生産量	営業部	218	実績値	218	-	198	9%↓	170	12%↓	237	↑9%	185	↓ 15.4%	192	↓12%				
	都市ガス消費量の削	m²/	40.76.40		目標値	-	-	1,828	1%↓	1,809	2%↓	1,791	3%↓	1,773	4%↓	1,754	5%↓	1,736	6%↓	1,717	7%↓
	減 ※基準年同月比	生産量	総務部	1,846	実績値	1,846	-	1,974	7% ↑	1,882	2%↑	2,178	18%	1,896	1 2.7%	1,815	↓1.7%				
大	ate administration of the state	t/	40.00		目標値	-	-	11	1%↓	10.8	2%↓	10.7	3%↓	11	4%↓	10.5	5%↓	10.3	6%↓	10.2	7%↓
項目	廃棄物排出量削減	生産量	製造部	11	実績値	11	-	14.2	29% ↑	12.1	10% ↑	13.65	1 24%	12	11.1%	11.2	1.4%				
大		m3/	41114		目標値	-	-	2,225	1%↓	2,203	2%↓	2,181	3%↓	2,158	4%↓	2,136	5%↓	2,113	6%↓	2,091	7%↓
項目	水使用量削減	生産量	製造部	2,248	実績値	2,248	-	1,729	23%↓	1,608	28%↓	1,899	16%↓	1,819	↓ 19.1%	1,358	↓ 39.6%				
中		m3/	4434-40		目標値	-	-	421	1%↓	417	2%↓	413	3%↓	409	4%↓	404	5%↓	400	6%↓	396	7%↓
項目	上水使用量削減	生産量	製造部	426	実績値	426	-	334	22%↓	278	35%↓	270	36%↓	322	↓ 24.4%	453	↑ 6.4%				
大		購入量kg/	40.00		目標値	-	-	330	1%↓	326	2%↓	323	3%↓	320	4%↓	316	5%↓	313	6%↓	310	7%↓
項目	化学物質使用量削減	生産量	製造部	333	実績値	333	-	226	32%↓	148	56%↓	305	8%↓	320	↓ 3.8%	582	↑ 74.8%				
大	E.独自の環境目標	総出勤時間h/	44174-40	1965	目標値	-	-	-	-	1,945	1%↓	1,926	2%↓	1,906	3%↓	1,887	4%↓	1,867	5%↓	1,847	6%↓
項目	作業の効率化	生産量	製造部	(2018年度基準)	実績値	-	-	1,965	-	2,374	21%↑	3,149	↑60%	1,962	↓ 0.1%	1,954	↓ 0.6%				
	生産量	単位:100万個	=	71.16	-	71.1	6	66.5	0	71.3	86	5	1.58	5	7.79	58	.06			,	
•	注1: 二酸化炭素排出 注2: 電力実排出係数 注3: 2021年よりトラック 注4:実績値のレート枠が 注5: 2022年ニッケルク	(中部電力) ;20 7の配送を一部9 が■は目標達成)17年度実排出 ト注化。軽油消 、■は目標未過	係数 0.476kg- i費量減少 達成	-CO2/KW	fる。 H						•		•							

(2)浜松工場 実績及び中長期目標(売上高100万円当たりの指標)

	(2)(2)(4)(4)(2)(9)(9)	2130194 0 1 3	推進部門	基準値	目標値	2017年月	te:	2018年	: da	2019年	: cita	2020年	e ate	0001	年度	000	22年度	2023	左座	0004	年度		
	環境経営目標項目	単位	又は 推進担当者	2017年度 (4~3月)	実績値	(4~3月		(4~3)		(4~3)		(4~3		(4~			~3月)	(4~			3月)		
大		Kg-CO2 (実績)	浜松製造課	1187033	実績値	1,187,03	33	1,141,	198	1,183,	076	1,079,	030	1,19	1,909	1,18	81,396	()	0			
項目	二酸化炭素排出削減 (省エネルギー)注1,2	Kg-CO2/	浜松製造課	1693	目標値	-		1,676	1%↓	1,659	2%↓	1,642	3%↓	1,625	4%↓	1,608	5%↓	1,592	6%↓	1,575	7%↓		
П		売上高M¥	州山政道脉	1093	実績値	1,693	-	1,373	15%↓	1,577	7%↓	1,520	10%↓	1,322	↓ 21.9%	1,262	↓ 25.5%						
	電力消費量の削減	KWH/	浜松製造課	2246	目標値	-		2,224	1%↓	2,201	2%↓	2,179	3%↓	2,156	4%↓	2,134	5%↓	2,111	6%↓	2,089	7%↓		
	※基準年同月比	売上高M¥	州仏 数追床	2240	実績値	2,246	-	1,809	19%↓	2,161	4%↓	2,074	8%↓	1,850	↓ 17.6%	1,748	↓ 22.2%						
中項	化石燃料消費量の削減		浜松製造課	46.8	目標値	-		46	1%↓	46	2%↓	45	3%↓	45	4%↓	44	5%↓	44	6%↓	44	7%↓		
目	※基準年同月比	売上高M¥	然仏衣追床	40.0	実績値	46.8	-	39	16%↓	40.8	13%↓	34.9	25%↓	11	↓ 77%	3	↓ 94.1%						
	都市ガス消費量の削減	m²/	浜松製造課	188	目標値	-		186	1%↓	184	2%↓	182	3%↓	181	4%↓	179	5%↓	177	6%↓	175	7%↓		
	※基準年同月比 売上高M¥	州仏 数追床	100	実績値	188	-	191	1%↑	205.65	9% ↑	205.64	9%↑	192	1 2%	196	1 4.3%							
大項	廃棄物排出量削減	t⁄	浜松製造課	0.19	目標値	-		0.188	1%↓	0.186	2%↓	0.18	3%↓	0	4%↓	0	5%↓	0.18	6%↓	0.18	7%↓		
目	冼来物拼山里 的越	売上高M¥	州仏 数追床	0.19	実績値	0.19	-	0.185	3%↓	0.198	4%↑	0.162	15%↓	0.14	23.8% ↓	0.16	24.6%↓						
大項	水使用量削減	m3/	浜松製造課	46	目標値	-		45.9	1%↓	45.5	2%↓	45	3%↓	45	4%↓	44	5%↓	44	6%↓	43	7%↓		
目	小 医 用 里 时 //或	売上高M¥	州山政道脉	40	実績値	46	-	47.3	2% 1	50.33	8% 1	50.29	8%↑	47	11%	46	1.6%↓						
大項	化学物質使用量	購入量kg/	浜松製造課	41.9	目標値	-		41.5	1%↓	41.1	2%↓	41	3%↓	40	4%↓	40	5%↓	39	6%↓	39	7%↓		
目	削減	売上高M¥	州仏 数追床	41.9	実績値	41.9	-	6.0.5	46%↑	61	45% ↑	50	19% ↑	48	14.5%	47	11.5%						
大項	独自の環境目標	総出勤時間	浜松製造課	109	目標値	-	-	1	1%↓	10,791.0	2%↓	106.8	2%↓	106	3%↓	105	4%↓	104	5%↓	102	6%↓		
目	佐要の効率ル	h/ 売上高M¥	h/ ;	h/	水仙衣坦味	2018年度基	実績値	-	-	109	-	153	41% ↑	167	53% ↑	127	6.5% 1	125	15.1% ↑				
	売上高 (実績値)	M¥	-	701.1	-	701.1		831.	2	750.	4	701.	.1	90	1.6	93	36.08						

注1: 二酸化炭素排出量は、電力、石油、都市ガス等の合計をKg-Co2で表記する。

注2: 電力実排出係数(中部電力) ;2017年度実排出係数 0.476kg-CO2/KWH

注3:2021年からトラック配送を外注化。軽油消費量減少。2022年度から浜松工場の軽油使用量0

注4:実績値のレート枠が■は目標達成、■は目標未達成

4 主要な環境経営活動計画の内容(清水工場)

4	主要は環境性呂泊動計画の内谷(月小		ベース(2017)						2022	!年度						注3	
	環境経営目標・環境経営活動計画の項目と具体的手段	推進部門又推進担当者		年集計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	評価
	A.二酸化炭素排出削減(5%減)	60.75 +5	目標値	16,351						16,	351						-
大項目	(kg-CO2/生産数)	総務部	実績値	18,342	25,202	20,042	18,587	19,267	20,464	14,507	14,769	16,811	23,435	18,840	17,502	15,567	Δ
中項目	A-1.電力消費量の削減(5%減)	総務部	目標値	25,384						25,	384			,			-
中項日	(使用量KWH/生産数)	ዛם የረት ዕንቶ	実績値	29,304	40,056	32,285	30,292	32,393	35,013	23,823	23,537	26,885	36,691	29,911	26,326	23,249	Δ
			第1目標電力	204						20	04						-
			第1最大電力	162	158	151	146	158	157	162	155	149	152	159	153	161	0
取り組み	 1. デマンドコントローラーにて、2工場の電力使用量を測定・削減管理	製造部	第1契約電力最大	170	170	170	170	170	170	169	169	169	169	169	168	162	-
		222	第2目標電力	229						2:	29	T		ı			-
			第2最大電力	242	225	222	219	212	213	208	206	217	207	233	239	242	Δ
			第2契約電力最大	242	231	231	231	231	231	231	231	231	231	233	239	242	-
中項目	A-2.化石燃料消費量の削減(5%減) (使用量L/生産数)	営業部	目標値	207		1				20	07	ı		ı			-
	(使用重广生性数)		実績値	192	224	185	223	198	212	168	157	171	288	173	167	185	0
中項目	A-3 都市ガス消費量の削減(5%減) (㎡/生産数)	総務部	目標値	1,754							754	ı		ı			-
	(川/工座奴/		実績値	1,815	2,586	1,952	1,678	1,556	1,516	1,274	1,471	1,662	2,434	1,933	2,111	1,872	Δ
大項目	B.廃棄物排出量削減(5%減) (廃棄物t/生産量(単位:100万個))	総務部	目標値	10.5							0.5	Ι		I			-
	(元未物) 工庄量(平位.100万间//		実績値	11.15	14.3	11.7	8.4	14.6	12.2	10.0	10.3	11.3	14.5	9.7	9.6	9.7	Δ
	2.不良削減(不良数/生産量) 前年比20%減 第一製造部主要5品目	製造部	目標値	0.009%	0.044	0.004		0.405	0.000		-	0.047			0.050	0.054	-
			実績値	0.168	0.011	0.231	0.275	0.125	0.302	0.420	0.034	0.317	0.141	0.056	0.059	0.051	Δ
	2.不良削減(不良数/生産量) 前年比20%減 第二製造部 インジェクタ部品 膜厚不良	製造部	目標値	1.81							- 	l		l			-
	第一 表記 コンシェクタ 部 配 探 足 不 及		実績値	2.19	1.82	2.43	2.80	3.38	3.06	2.40	2.06	2.03	1.84	1.67	1.47	1.33	Δ
取組	3.廃プラのリサイクル(専門業者買取) (重量t/生産量(単位:100万個))		目標値		0.04	0.00			0.00		-						-
			実績値		0.21	0.03	0.06	0.03	0.08	0.01	0.00	0.08	0.05	0.03	0.09	0.07	-
	4.段ボールのリサイクル(専門業者買取) (重量t/生産量(単位:100万個))	生技保全部	目標値	-	0.10	0.11	0.15	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.15	0.10	0.10	0.00	-
		_	実績値	_	0.12	0.11	0.15	0.12	0.13	0.16	0.10	0.16	0.15	0.13	0.10	0.09	
	5.金属のリサイクル(専門業者買取) (重量t/生産量(単位:100万個))		目標値 実績値	-	450.14	468.85	566.26	857.03	0.00	67.58	291.33	0.00	641.60	0.00	0.00	0.00	_
			天根胆		430.14	400.03	300.20	837.03	0.00			0.00	041.00	0.00	0.00	0.00	
土頂日	C.水使用量削減(5%減) (排水量t/生産量(単位:100万個))	製造部	目標値	2,136						2,1	136						-
入項日	(赤小星) 工座星(平位.100万個//	炎 厄印	実績値	1,358	1,747	1,914	1,973	1,603	1,472	885	1,198	1,186	1,214	1,059	1,104	1,258	0
			目標値	404							04						_
取組	6.上水使用量削減 ライン毎に水使用量の把握 (使用量㎡/生産量(単位:100万個))	製造部	実績値	453	442	657	620	626	673		l	423	588	334	291	299	
大項目	D.化学物質使用量削減(5%減)		目標値	2/20							_						
取組	7.薬品使用料の削減	製造部	実績値	626	573.5	441.4	498.1	534.1	981.7	677.3	388.4	637.8	940.3	723.7	675.6	572.6	Δ
	<u>(薬品購入量k∞/牛産量(単付・100万個))</u> E.独自の環境目標				070.0	771.7	TVU.1	004.1	301.7			007.0	J-0.0	120.1	070.0	07Z.0	
大項目		目標値	1,887						1,8	387						-	
取組	8.作業の効率化(4%減) (総出勤時間h/生産量(単位:100万個))	- 製造部	実績	1,954	1,960	1,921	1,888	1,957	2,071	1,815	1,862	2,044	2,612	1,737	1,910	1,875	Δ
基準年度 - 71.16										5.	93			<u> </u>			-
	生産量(単位:100万個)	今年度	実績	58.06	4.19	4.22	4.47	4.43	4.12	5.33	5.80	5.22	3.76	4.73	5.43	6.35	-
今年度 実績 58.06 4.19 4.22 4.47 4.43 4.12 5.33 5.80 5.22 3.76 4.73 5.43 6.3											<u> </u>						

4 主要な環境経営活動計画の内容(浜松工場)

I== +=	経営目標・環境経営活動計画の項目と具体的手段	ベース(2017)						2022	2年度						注3		
垛 块	在呂日信 琼克在呂右朝計画の項目 2 兵体的于权	又推進担当 者		年集計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度末評価
大項目	A.二酸化炭素排出削減(5%減)	全浜松	目標値	1,608						1,	608						-
人項目	(kg-CO2/売上高M¥)	主洪仏	実績値	1,262	1,271	1,400	1,335	1,237	1,310	1,231	1,223	1,114	1,236	1,545	1,181	1,187	0
中項目	A-1.電力消費量の削減(5%減)	全浜松	目標値	2,134						2,	134						-
1.71	(KWH/売上高M¥)(月毎の目標値)	- //	実績値	1,748	1,672	1,944	1,895	1,766	1,968	1,825	1,697	1,496	1,672	2,222	1,485	1,553	0
中項目	A-2.化石燃料消費量の削減(5%減)	全浜松	目標値	44							14						-
十块口	(L/売上高M¥)	主共位	実績値	3	2	2	4	3	4	4	2	3	2	3	2	3	0
中項目	A-3.都市ガス消費量の削減(月毎の目標値)	全浜松	目標値	179						1	79						-
7%0	(㎡/売上高M¥) (5%減)	ΞΑ,ΙΔ	実績値	196	218	217	197	181	168	164	190	183	201	222	217	204	Δ
具休的 手段	1.太陽光発電(kg-CO2/売上高M¥)	全浜松	目標値	-							-						-
X(TH4)] 7X	T. N. Prop. D. D. G. C. C. J. L. L. Blutty	1 //(14	実績値	93	12,894	15,137	15,057	7,573	0	0	0	0	7,247	8,209	8,816	12,263	-
大項目	B.廃棄物排出量削減(5%減)	全浜松	目標値	0.16				1		0.	160		1			1	-
	(廃棄物t/売上高M¥)		実績値	0.16	0.15	0.14	0.18	0.17	0.17	0.12	0.18	0.18	0.15	0.18	0.13	0.20	0
具体的手段	2.不良率削減 リム不良品削減	全浜松	目標値	4.4%							-						-
2011-113 7 12	(不良数/生産数)	±2/12	実績	3%	4.1%	1.0%	1.3%	1.7%	1.1%	1.9%	3.8%	1.8%	2.2%	2.9%	2.8%	9.8%	0
大項目	C.水使用量削減(5%減) (㎡/売上高M¥)	全浜松	目標値	44						4	4.0						-
具体的手段	3. 井戸水流量計設置による使用状況の把握		実績	46	45	48	50	46	50	51	46	41	43	46	42	42	Δ
大項目	D.化学物質使用量削減(5%減)	全浜松	目標値	40						4	0.0						-
具体的手段	4.薬品使用料削減(薬品購入量kg/売上高M¥)	土洪仏	実績値	47	64	42	47	45	35	57	55	37	53	59	29	39	Δ
大項目	E.独自の環境目標	全浜松	目標値	105						10	5.0						-
具体的手段	5.作業の効率化(4%減) (総出勤時間h/売上高M¥)	王洪仏	実績値	125	114	124	133	125	126	137	127	117	121	128	126	131	Δ
	売上高(M¥)	-	701.1	1.1 58.43									-				
	が上向(MIT)	今年度	-	936.1	80.08	62.90	79.46	82.45	66.90	83.75	79.36	90.05	82.99	62.77	79.28	86.07	-

注1:環境活動評価表の年度末評価をまとめて記号で表記する。達成は、◎ ほぼ達成は、○ 未達は、△ 印で表記する。

4 主要な環境経営活動計画の内容(地域貢献活動)

近隣の草刈り作業



洪水被害のボランティア活動



飲料水の配布



土砂除去



エコアクション21 2022度 取り組み

環境目標 大項目	環境目標 中項目(使用量の削減等)	環境活動計画と具体的手段		2022年度の改善取り組み
二酸化炭素排出削減	電気使用量削減 都市ガス使用量削減	・不要電灯の消灯 ・生産効率の改善 ・業務効率の改善	全体 全体 全体	不要電灯の消灯 ライントラブルの改善 改善報告書 145件
廃棄物排出量削減	・廃棄物の削減	・不良品数の削減 ・廃液量の削減 ・購入量削減	清水 製造 清水 総務 清水 生産技術 清水 生産技術 浜松工場 清水 製造 浜松工場	生産条件の改善による不良率削減 文原具膜入量削減7%減 短包用ラップ、PPパンド、PSトレーは有価買取(リサイクル類) ダンボール、古紙はリサイクル回収(リサイクル類) イオン交換塔交換境度延長 輸入材の無駄な梱包資材の削減 スラッジの有価買取
水使用量(排水量)の削減	上水使用量削減 井戸水使用量削減	・水洗水のリサイクル	浜松工場 清水 製造	水洗水をイオン交換塔にとうして水洗水として再利用 回収水の再利用
化学物質使用量削減	化学物質使用量削減		全体	処理液更新頻度見直し
地域社会貢献活動	地域社会貢献活動	会社周囲清掃 各種イベントへの参加	全体	会社周辺清掃 会社周辺草刈り 台風被害のボランティア活動

5 環境経営活動の取組結果の評価(清水工場)

3 現現在呂泊期(V) 部門名	オスパエパロノス (27 日) 清水製造部	「山山(ノ月ノハ <i>ー</i> ニング 推進担当者:		沙山、山田
環境経営活動計画の項目	/1/1/			
<u>注1</u> 電力消費量の削減	達成状況と対応(推進担当 昨年度:基準値より10.8% 昨年度と比較して生産量を コメント又は是正指示(環 生産性の効率化が必要です	者): BUP、今年度:基準値より6 増やしつつ電力消費の削減 賃):	. 6%UP	
化石燃料消費量の削減	達成状況と今後の対応(推 昨年度:基準値より15.4% 生産量を増やしつつ化石燃 コメント又は是正指示(環 配送の効率化が出来ていま	DOWN、今年度:基準値より 料の削減が出来ている。 責):	J12%DOWN	
都市ガス消費量の削減	達成状況と今後の対応(推 昨年度:基準値より2.7% 時年度と比較して生産量を コメント又は是正指示(環 生産効率が改善が出来てい	P、今年度:基準値より1. 増やしつつ電力消費の削減 責):		
廃棄物の削減	達成状況と今後の対応(推 昨年度:基準値より11.1% 昨年度と比較して生産量を 一部プラゴミの資源化の一等 輸入材料の梱包資材の一条 作業備品の再制用によるの 水洗水の再利用によるの 水銀使用の部品を水銀レス コメント又は是正指示(環 再資源化が出来ている	UP、今年度:基準値より1. 増やしつつ電力消費の削減 : 省略 数削減 ム廃液の削減 に変更。		
水使用量の削減	総量の削減にも努めていき 達成状況と今後の対応(推 昨年度:基準値より19.1% コメント又は是正指示(環 昨年度より水の使用量の削	進担当者): Down、今年度:基準値より 責):	J 39. 6%Down	
化学物質使用量削減	達成状況と今後の対応(推 昨年度:基準値より3.8%[ニッケルクロムライン立ち 処理液の延命化により化学 コメント又は是正指示(環 新ライン設立で一時的に使	Jown、今年度:基準値より 上げのために化学物質使用 物質使用量削減	月量が増加。	こいます。
独自の環境基準値 作業の効率化	達成状況と今後の対応(推 昨年度:基準値より0.1%[コメント又は是正指示(環 継続した改善が出来ていま	Jown、今年度:基準値より 遺):	J 0. 6%Down	
印	社長承認	マシガナス (仕事は 竹	環境管理責任者確認サ	

注1:部門毎又は推進担当者毎に「環境活動計画の項目」をまとめて列挙する。(付表は、部門又は担当者毎に別になる) 中項目毎又は達成手段毎でも、まとめ易い項目にする 5 環境経営活動の取組結果の評価(浜松工場)

り 現現在呂泊期の 部門名	ムルエルロント (フロー)	推進担当者:		井
環境経営活動計画の項目 注1			~2023年3月	
電力消費量の削減	達成状況と対応(推進担当作業の効率化により電気消めっきラインの改善によりコメント又は是正指示(環生産の効率化が出来ていま	打費量の削減ができた。 トラブルによるライン停止 計員):	削減	
化石燃料消費量の削減	達成状況と今後の対応(推配送の外注化により軽油のコメント又は是正指示(環目標の見直しが必要になる)消費量が0に (責) :		
都市ガス消費量の削減		7を増やしつつ昨年度より消削減により不良発生分の消 計割 :		
廃棄物の削減		7を増やしつつ昨年度より廃 :る停止削減により不良品の 最責):		
水使用量の削減	達成状況と今後の対応(推 生産の効率化により生産数 一部の水洗水のリサイクル コメント又は是正指示(環 生産の効率化が出来ていま	で増やしつつ昨年度より水 を実施 遺責):	(使用量を削減できた	
化学物質使用量の削減		(を増やしつつ昨年度より使 よ分の化学薬品使用量の削減 最責):		
独自の環境目標 作業の効率化	達成状況と今後の対応(推 生産数が増えたことで昨年 不良数削減により生産性の コメント又は是正指示(環 生産の効率化が出来ていま	ことり作業効率が改善した。)向上 最責):		
印	社長承認		環境管理責任者確認サイン	

6 次年度の取組内容(清水工場)

	環境目標・環境活動計画の項目
大項目	A. 二酸化炭素排出削減(kg-CO2/生産量100万個)
中項目	A-1. 電力消費量の削減(使用量KWH/生産量100万個)
中項目	A-2. 化石燃料消費量の削減(基準年同月比)(L/生産量100万個) トラック等の配送の効率化
中項目	A-3. 都市がス消費量削減(基準年同月比)(L/生産量100万個)
具体的 達成手段	新規製造ライン新設(ニッケルクロムめっき)生産効率の改善電気ヒーターによる加温をボイラーに変更を検討
大項目	B. 廃棄物排出量削減(t/生産量100万個)
具体的 達成手段	不良率削減による製品の廃棄量削減 廃液を自社内で処理 水洗水の再利用による廃液の削減。 スラッジの有価買取
大項目	C. 水使用量削減
具体的 達成手段	ライン毎に水使用量の把握(流量計設置)
大項目	D. 化学物質使用量削減(購入量Kg/生産量100万個)
具体的	各ライン前処理薬品使用量削減
達成手段	更新頻度の見直しによる液の長寿命化
環境目標	人員配置及び作業の効率化 新規受注により生産効率UP

6 次年度の取組内容(浜松工場)

	環境目標・環境活動計画の項目
大項目	A. 二酸化炭素排出削減(kg-CO2/売上高M¥)
中項目	A-1. 電力消費量の削減(使用量KWH/売上高M¥)
中項目	A-2. 化石燃料消費量の削減(基準年同月比)(L/売上高M¥)
中項目	A-3. 都市ガス消費量削減(基準年同月比)(L/売上高M¥)
具体的 達成手段	生産性向上による作業時間削減により電気及びガスの使用量の削減
大項目	B. 廃棄物排出量削減(業者引き取り回数)
具体的 達成手段	不良率削減による製品の廃棄量削減。
大項目	C. 水使用量削減
具体的	6,流量計設置による使用状況の把握
達成手段	リサイクル水の比率拡大
大項目	D. 化学物質使用量削減(購入量Kg/売上高M¥)
具体的 達成手段	8. 更新頻度見直しによる液の長寿命化
環境目標	人員配置及び作業の効率化を進めます

7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無(清水工場)

No	適用法規等	規制事項・基準及び測定頻度等	該当設備・適用事項等	建寸认沈唯 認 2022年4月1	備考(Δ・×に 関するコメント 等)
1	大気汚染防止法	ばい煙発生施設(法2条2項)	第1工場:ガス型小型ボイラー1基 第2工場:ガス型小型ボイラー1基	該当なし	
2	水質汚濁防止法	有害物質使用特定施設(法2 ②⑦、法5 ①) 特定施設(令1、別表1、六十六)の届出 有害物質(令2) 排水基準に適合(法3①、12①,排水基準省令、別表第1) 水質測定と記録の保存(法14-1項、規9条) 事故により有害物資等の排出時応急措置及び届出(法14の2) H24.6改正水濁法に伴う点検及び記録(3年間保存)	電気めっき施設 有害物質:シアン化合物 六価クロム化合物	0	
3	特定工場における 公害防止組織の整 備に関する法律	公害防止統括者(資格不要)の届出(法3の3) 公害防止管理者(法4の3)の届出 水質関係有害物質発生施設(排水量平均1万㎡/Dで区分) 公害防止管理者代理者(法6)の届出	電気めっき施設 有害物質:シアン化合物 六価クロム化合物 (排水量 1万㎡/D以下)	0	
4	下水道法	特定施設(法12の3、規8、9) 特定施設からの排水を下水道に排出せず、除害施設経由で公共河川に排 出している場合の下水道法の届出などは不要(下水道部下水道維持課に確 認)	第1工場:下水道(但し排水処 理施設の排出、水は公共用水 域) 第2工場:下水道なし 第3工場:下水道 特定施設な し	0	
5	浄化槽法	*新設置後水質検査(法7条令4条) 定期水質検査(法11条) 年1回 保守点検(法8条)回数は令による 清掃(法9条)1回/年	第2工場:合併 30人槽	0	
6	・騒音規制法 ・静岡県生活環境 の保全等に関する 条例	 ・騒音規制法 *特定施設(法2条令1条別表1)の届出 空気圧縮機・送風機(7.5Kw以上) ・静岡県生活環境の保全等に関する条例 空気圧縮機・送風機(3.75Kw以上) 注:より厳しい規制条件が適応される。 *届出(法6) 	第1工場:コンプレッサー 7.5kw 1台、7.5kw以下5台 送風機7.5kw以上3台 第2工場:コンプレッサー 11kw 1台、7.5kw 2台、 7.5kw以下2台 送風機7.5kw 以上2台	0	
7	静岡市告示30号	規制遵守(法5条) 地域指定と規制値 地域指定;第4種区域規制値;昼間:70dB、朝・夕:65dB、夜間:60dB	-	0	
8	振動規制法	特定施設;(法6、令1、別表1) 圧縮機(7.5KW以上)	第1工場:コンプレッサー 7.5kw 1台、7.5kw以下5台 送風機7.5kw以上3台 第2工場:コンプレッサー 11kw 1台、7.5kw 2台、 7.5kw以下2台 送風機7.5kw 以上2台	0	
		《産業廃棄物》事業者による廃棄物の適正処理(法3条) 収集運搬及び処分の委託(法12③④) 管理表(マニフェスト伝票)の適正管理(法12条の3) 管理表に関する報告書の提出(法12条の6)	廃プラ、廃フィルター、カートリッジ、 活性炭	0	
9	廃棄物の処理及び 清掃に関する法律 (廃棄物処理法)		廃強酸、廃クロム、廃アルカリ、 原酸、汚泥、スラッジ	0	
		《事業系一般廃棄物》	市の処分場へ出す廃棄物 事業系一般廃棄物・資源リサイ クル;廃新聞紙、コピー用紙、軍 手、ダンボール、ピン、缶、PETな ど	0	
		廃棄物置場の管理(法12条2項、規8条)	「産業廃棄物保管場所」表示	0	
10	市産業廃棄物の適 正な処理に関する 条例(H21.10.1 施行)	産業廃棄物管理責任者の選任 委託業者先の実地確認 契約時、及び継続は1回/年以上	産業廃棄物全般	0	
11	土壤汚染対策法	有害物質使用特定施設を廃止する場合は、土地の汚染状況を調査、報告 (法3) 但し、その土地を継続使用する場合は、「ただし書きの確認」を申請すれば免 除(規12)	電気めつき施設 第2種特定有害物質: 六価クロム化合物、 シアン化合物	当期間該当なし	
12	消防法	静岡市火災予防条例(66条) 少量危険物の貯蔵・取扱いの届出;表示版設置 (指定数量未満、1/5以上)灯油;1KL未満200L以上)	No2工場、ストープ用の灯油 (200L以下で使用)	少量危険物には該当しない	

No	適用法規等	規制事項・基準及び測定頻度等	該当設備·適用事項等	遵守状況確 認 2022年4月1	備考(△・× に関するコメ 小等)
13	PRTR法	第1種指定化学物質等取扱事業者(法2⑤、令3,4) (1トン/年以上、特定0.5トン/年以上、従業員21人以上) 第1種指定化学物質(令1、別表1、H21.10.01追加) 特定第1種指定化学物質(令4、ロ) 第2種指定化学物質(令2、別表2、H21.10.01追加) *第1種指定化学物質の排出量などの届出(法5②、規 5,6) *事業者は、物質を譲渡時にMSDSを提供(法14①②、MSDS省令2~6)	クロム及び3価クロム化合物 (68)、6価クロム化合物(69)、 ニッケル(231)、ニッケル化合物 (232)等 (PRTR購入量調査表参照) 新規購入時MSDSを受領し、 情報として利用	0	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
14	PCB廃棄物 特別措置法	PCB含有使用済み変圧器などに適用 状況等届出書(年1回:4月~5月末まで)	高圧コンテ [*] ンサー30K、20K 2台	0	処理手配 済み
15	毒物及び劇物取締法	業務上取扱者の届出(届出業者) (法22①② 令41、42、規13の12、規18、別記様式18)電気めっき業などが該当 (非届業者も含む) 毒・劇も物の盗難・紛失・飛散等の防止措置(法11、22④) 毒・劇物の廃棄方法の基準(法15の2)	無機シアン化合物たる毒物 (青化加、青化第一錫)多種 の毒劇物・薬品などを使用し ている。管理方法及び廃棄に ついて順法が必要。法令薬品 別台帳参照	0	
16	エネルギーの使用の 合理化に関する法 律(省エネルギー法)	第2種特定事業者(令2)(2010.04.01から事業者ベース) エネルギー使用量(電力、石油、LNGなど)が原油換算 で1500KL以上3000KL未満/年	静岡、浜松 合計で1100KL以下	該当なし	
17	フロン排出抑制法	業務用エアコン、冷凍機の整備時・廃棄時 (法4条、法19条の3) 工程管理制度(マニフェスト: 回収依頼書、委託確認書など)の実施(法19の3①②) ②) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業務用チラー、クーラー 業務用空調機 冷媒としてフロン使用機器 フロン使用の圧縮機 ーーーー 簡易点検実施	0	
18	家電リサイクル法	たのかみに1回以上) 定朔点検:エバコンバ.3kw以上3年に1回以上 特定家庭用機器(エアコン、TV、冷蔵庫、洗濯機)(法2条令1条) 廃棄時;適切な引渡し・料金支払い(法6条)と管理票受領(法43条)	エアコン、TV、冷蔵庫、洗濯機 	本年度該当なし	
	静岡県地下水の 採取に関する条 例	条例6条 設備設置届出 揚水量届出 (毎年2月末に届出) 「静岡市でも県条例が適用される」	第1工場で取水 届出平均採取量350㎡/日 口径100mm 能力0.6㎡/分	0	
		衛生管理者の選任 (常時50人以上の事業所) (法12条、令4条、規7) 作業環境測定 (法65) (令21、別表33、一・二) 特化則関連 (特化則 36①) (令21、別表6-2、有機則1二・六) 有機則関連	特化則、有機則作業主任者 が必要な作業職場で測定が 必要(業者委託も可能)	0	
	労働安全衛生法 (労安法) (注ででは、 (注では、 (注では、 (注での労安法関連	特定化学物質障害予防規則(特化則) 特定化学物質作業主任者の選任(法14、令6 十八、特化則27、別表3) 管理全般(特化則27条~38条)	特化物(別表3)を製造又 は取扱う作業(除く試験研 究)で選任 記録、保存、掲示など規制 あり 「クロム酸等」の測定記録は 30年保存(特化則36) 特別管理物質:「クロム酸 等」の作業場には掲示版を (特化則38の3)	0	
	の全てをカバー していないので 対応時は法令を 再確認のこと)	有機溶剤中毒予防規則(有機則) 有機溶剤作業主任者の選任(法14、令6 二十二、有機則19、別表6の2、規2,3) 管理と測定(有機則19条~28条)	有機溶剤(別表6の2.5%以上)を製造又は取扱う屋内作業場等での作業(但し許容消費量以上が対象で適用の除外がある有機則19、有機則2,3条の1項)選任、記録、掲示など規制あり掲示;有機則24,25)	0	
		化学物質等の有害性等の通知制度 (SDS通知制度) (法57の2、令18の2、別表9) *提供者は相手方にSDSを通知する (化学物質購入者がSDSを要求するのが良い) *通知されたSDSは、作業者の見やすい 場所に掲示又は備え付けること等により取扱う労働者に周知する。 (法101)	別表9 (1%以上) 及び別表 3の1の物質 (該当物質が多 いので化学物質を購入時、 購入業者にSDSの要否を確 認するが良い)	0	
	悪臭防止法	静岡市告示153号 臭気指数10以下 	アンモニア水	0	
22	RoHS指令 (SOC4物質) REACH規則	顧客からの要望により対応する。	-	0	

7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無(浜松工場)

No	適用法規等	規制事項・基準及び測定頻度等	該当設備・適用事項等		備考(△・×に 関するコメント 等)
	大気汚染防止法 水質汚濁防止法	ばい煙発生施設(法2条2項) 有害物質使用特定施設(法2②⑦、法5①) 特定施設(令1、別表1、六十六)の届出 有害物質(令2) 排水基準に適合(法3①、12①,排水基準省令、別表第1) 水質測定と記録の保存(法14-1項、規9条) 事故により有害物資等の排出時応急措置及び届出(法14の2) H24.6改正水濁法に伴う点検及び記録(3年間保存)	簡易ポイラー2基 電気めっき施設 有害物質:六価クロム化合物	該当なし ○	
3	特定工場における 公害防止組織の整 備に関する法律	公害防止統括者(資格不要)の届出(法3の3) 公害防止管理者(法4の3)の届出 水質関係有害物質発生施設(排水量平均1万㎡/Dで区分) 公害防止管理者代理者(法6)の届出	電気めっき施設 有害物質:六価クロム化合物 (排水量 1万㎡/D以下)	0	
4	浄化槽法	*新設置後水質検査(法7条令4条) 定期水質検査(法11条) 年1回 保守点検(法8条)回数は令による 清掃(法9条)1回/年	合併 30人槽	0	
5	・騒音規制法 ・静岡県生活環境 の保全等に関する 条例	 ・騒音規制法 *特定施設(法2条令1条別表1)の届出 空気圧縮機・送風機(7.5Kw以上) ・静岡県生活環境の保全等に関する条例 空気圧縮機・送風機(3.75Kw以上) 注:より厳しい規制条件が適応される。 *届出(法6) 	コンプ・レッサー 5.5kw、 送風機11kw以上 集塵機7.5KW	0	
6	浜松市告示	規制遵守(法5条) 地域指定と規制値 地域指定;第4種区域規制値;昼間: 70dB、朝·夕:65dB、夜間:60dB	-	0	
7	振動規制法	特定施設;(法6、令1、別表1) 圧縮機(7.5KW以上)	コンプ・レッサー 5.5kw、 送風機11kw以上 集塵機7.5KW 冷凍機:7.5KW	0	
	清掃に関する法律	《産業廃棄物》事業者による廃棄物の適正処理(法3条) 収集運搬及び処分の委託(法12③④) 管理表(マニフェスト伝票)の適正管理(法12条の3) 管理表に関する報告書の提出(法12条の6)	廃プラ、廃フイルター、カートリッジ、 活性炭、排水汚泥、スラッジ	0	
8		《特別管理産業廃棄物》(法2⑤、令2の4 別表1~3) 保管基準(法12の2、規8の13) 収集運搬及び処分の委託(法12の2③④) 管理責任者の設置(法12の2⑥⑦、規8の17) 帳簿の整備(法12⑪・12の2⑫ 規8の5・8の18) *特別管理産業廃棄物とは 廃油(引火点70℃以下)、廃酸(PH2.0以下)廃アルカリ(PH12.5以上) *特定有害産業廃棄物とは 以下の物質を含む廃酸廃アルカリ及び汚泥等(鉛及びその化合物、6価クロム化 合物、シアン化合物等)	廃強酸、廃クロム、廃アルカリ、 廃酸	0	
		《事業系一般廃棄物》	市の処分場へ出す廃棄物 事業系一般廃棄物・資源リサイ クル;廃新聞紙、コピー用紙、軍 手、ダンボール、ビン、缶、PETな ど	0	
		廃棄物置場の管理(法12条2項、規8条)	「産業廃棄物保管場所」表示	0	
9	市産業廃棄物の適 正な処理に関する 条例(H21.10.1 施行)	産業廃棄物管理責任者の選任 委託業者先の実地確認 契約時、及び継続は1回/年以上	産業廃棄物全般	0	
10	土壤汚染対策法	有害物質使用特定施設を廃止する場合は、土地の汚染状況を調査、報告(法3) 但し、その土地を継続使用する場合は、「ただし書きの確認」を申請すれば免除(規12)	電気めっき施設 第2種特定有害物質: 六価クロム化合物、	当期間該当なし	
11	消防法	浜松市火災予防条例(66条) 少量危険物の貯蔵・取扱いの届出;表示版設置 (指定数量未満、1/5以上)灯油;1KL未満200L以上)	자ープ用の灯油(200L以下で 使用)	少量危険物には該当しない	

No	適用法規等	規制事項・基準及び測定頻度等	該当設備・適用事項等	遵守状況確認 2022年4月1 日	備考(△・× に関するコメ ント等)
12	PRTR法	第1種指定化学物質等取扱事業者(法2⑤、令3,4) (1トン/年以上、特定0.5トン/年以上、従業員21人以上) 第1種指定化学物質(令1、別表1、H21.10.01追加) 特定第1種指定化学物質(令4、ロ) 第2種指定化学物質(令2、別表2、H21.10.01追加) *第1種指定化学物質の排出量などの届出(法5②、規 5,6) *事業者は、物質を譲渡時にMSDSを提供(法14①②、MSDS省令2~6)	クロム及び3価クロム化合物(68)、 6価クロム化合物(69)、ニッケル (231)、ニッケル化合物(232)等 (PRTR購入量調査表参照) 新規購入時MSDSを受領し、 情報として利用	0	
13	毒物及び劇物取締 法	業務上取扱者の届出(届出業者) (法22①② 令41、42、規13の12、規18、別記様式18)電気めっき業などが該当 (非届業者も含む) 毒・劇も物の盗難・紛失・飛散等の防止措置(法11、22④) 毒・劇物の廃棄方法の基準(法15の2)	毒劇物・薬品などを使用している。管理方法及び廃棄について順法が必要。法令薬品別台帳参照	0	
	エネルキ゛ーの使用の 合理化に関する法 律(省エネルキ゛ー法)	第2種特定事業者(令2)(2010.04.01から事業者ベース) エネルキー使用量(電力、石油、LNGなど)が原油換算 で1500KL以上3000KL未満/年	静岡、浜松 合計で1500KL以下	該当なし	
15	フロン排出抑制法	業務用エアコン、冷凍機の整備時・廃棄時 (法4条、法19条の3) 工程管理制度(マニフェスト:回収依頼書、委託確認書など)の実施(法19の3① ②) すべての業務用冷凍・空調機器(第1種特定機器)を対象に、簡易点検を実施 (3か月に1回以上) 定期点検:エアコン7.5kw以上3年に1回以上	業務用チラー、ケーラー 業務用空調機 冷媒としてプロン使用機器 プロン使用の圧縮機 ーーーー 簡易点検実施	0	
16	家電リサイクル法	特定家庭用機器(エアコン、TV、冷蔵庫、洗濯機)(法2条令1条) 廃棄時;適切な引渡し・料金支払い(法6条)と管理票受領(法43条)	エアコン、TV、冷蔵庫、洗濯機 廃棄時に対応	該当なし	
	静岡県地下水の 採取に関する条 例	条例6条 設備設置届出 揚水量届出(毎年2月末に届出) 「浜松市でも県条例が適用される」	届出平均採取量150㎡/日 口径40mm 能力0.2㎡/分	0	
	労働等では、 労働等をできるでは、 を安意で労でいいでは、 をおいいでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	衛生管理者の選任(常時50人以上の事業所) (法12条、令4条、規7) 作業環境測定(法65) (令21、別表33、一・二) 特化則関連(特化則 36①) (令21、別表6-2、有機則1ニ・六)有機則関連	特化則、有機則作業主任者 が必要な作業職場で測定が 必要(業者委託も可能)	0	
		特定化学物質障害予防規則(特化則) 特定化学物質作業主任者の選任(法14、令6 十八、特化則27、別表3) 管理全般(特化則27条~38条)	特化物(別表3)を製造又は 取扱う作業(除く試験研 究)で選任 記録、保存、掲示など規制 あり 「クロム酸等」の測定記録は30 年保存(特化則36) 特別管理物質:「クロム酸等」 の作業場には掲示版を(特 化則38の3)		
		有機溶剤中毒予防規則(有機則) 有機溶剤作業主任者の選任(法14、令6 二十二、有機則19、別表6の2、規2,3) 管理と測定(有機則19条~28条)	有機溶剤(別表6の2.5%以上)を製造又は取扱う屋内作業場等での作業(但し許容消費量以上が対象で適用の除外がある有機則19、有機則2、3条の1項)選任、記録、掲示など規制あり掲示;有機則24,25)	該当なし	
		化学物質等の有害性等の通知制度 (SDS通知制度) (法57の2、令18の2、別表9) *提供者は相手方にSDSを通知する (化学物質購入者がSDSを要求するのが良い) *通知されたSDSは、作業者の見やすい 場所に掲示又は備え付けること等により取扱う労働者に周知する。 (法101)	別表9 (1%以上) 及び別表3 の1の物質(該当物質が多い ので化学物質を購入時、購 入業者にSDSの要否を確認す るが良い)	0	
19	悪臭防止法	浜松市告示153号 臭気指数10以下	=	0	
20	RoHS指令 (SOC4物質) REACH規制	顧客からの要望により対応する。	-	0	
	※理培則浦注担笙の:	- 尊守状況の確認及び評価の結果は、環境経営マニュアルに従い環境法規制等一覧表にて実施	な」 明野はもはませきでした (200	10401字妆.钉	カш\

8 代表者による全体の評価及び見直し

作成2023年7月17日 代表者:瀧井 貞夫

【活動期間:2022年4月1日 ~2023年3月31日】

1. 全体評価のための個別評価(環境管理責任者による評価も可)

TT	=== /==
項 目	評 価
環境負荷自己チェック	清水工場:全体的に昨年度より改善傾向に有る。
	浜松工場:全体的に昨年度より改善傾向に有る
環境目標達成状況	・清水工場 達成:3件 未達成:8件
	ライン新設により化学物質使用量が増加
	·浜松工場 達成5件 未達成:4件
	配送の外注化により軽油使用量が0
	・清水:生産数量原単位、浜松:売上高原単位ベースで評価
環境活動計画の達成状況	廃棄物の再資源化が出来ている
· 埃克伯勒而自00 建灰状况	9月の台風による洪水で排水設備に一部に水が浸かり一時操業停止。
環境事故・トラブルの有無	10月の日風にある沃水で赤小政備に 即に水が投がり 時休未停止。
該当環境関連法規等の遵守	 - 理接明海は担の海穴は明照が
	・環境関連法規の遵守は問題なし
状況および制定・改廃状況	・法規制の最新版のチェックを実施
訴訟・行政指導等の有無	・過去3年間指導なし
教育・訓練の実施状況	・作業手順書を元に訓練の実施を行っていく。
	★従業員教育(勉強会)を定期的に行う。
外部とのコミュニケーションの状況	·河川清掃
	·会社周辺清掃
	・災害発生時のボランティア活動
	・市へSDGs宣言書を提出
	・配送先での荷崩れ 1件
規定類、手順書等の関連文書	特になし
および関連記録の制定改廃	
の状況	

2. 見直しおよび変更指示

項目	評価	変更要否
環境方針	環境方針は前年度から継続	変更 □ 要 ■ 否
環境目標	環境目標は前年度から継続	変更 □ 要 ■ 否
環境活動計画	生産量の変動に合わせた生産活動の効率化を行う必要が有る。	変更 □ 要 ■ 否
環境経営マニュアル(システム)	大きな変更なし	変更 □ 要 ■ 否
その他	纏め中 	変更 □ 要 □ 否

3. **全体の評価**(今年度の評価と次年度への指示を記載する)

清水工場、浜松工場共に増収しつつ原単位当たりのCO2排出量数値削減を維持している。 浜松工場では運送便を業者に完全に委託したことが大きいが丸長関連で見ればCO2排出量が 0になったわけではないので将来的に問題になると思われる。

清水工場では新ライン完成による建浴などのため化学物質使用量が増えた。

地域貢献活動では、台風被害にあった家へボランティア派遣、水配布などで地域に根差した活動を行っている。

今後の課題として新ラインの早期稼働をすることで売り上げを上げ原単位当たりのCO2排出量の比率を下げる事である。